

展開と効果

- ・国際社会が抱える課題へのソリューションの提供(日本が強みを持つ分野で貢献(防災, 環境・気候変動・エネルギー, 医療・保健, ICT等))
- ・諸外国(同盟国, 近隣国を含む)との二国間科学技術協力の強化
 - 国際社会での影響力強化
ソフトパワーの向上
(地球儀を俯瞰する外交に厚み)
- ・基準・規格の普及をはじめ, 日本にとって有利な国際的枠組を構築し, 日本企業の海外展開を支援
- ・新興国・途上国の持続的成長を支援
("Innovation for Development")
(ひいては, 世界経済を牽引)
 - 経済的利益の拡大
- ・日本の科学技術・イノベーションを推進
 - 成長戦略に貢献
競争力の維持・強化
「知」の創出
- ・我が国の安全保障への貢献
(宇宙, サイバー, 食料安全保障等)

戦略的な方向性

科学技術を活用したグローバルな価値の創出とリスクの管理・軽減による国際貢献
(国際社会での知的リーダーシップの強化)

科学技術・イノベーションを活用した途上国・新興国外交の展開

科学技術外交の基盤強化

外交政策の立案・実施における科学的知見の活用強化

科学技術外交を支える人材の育成

対外発信の強化

具体的施策(案)(要素)

科学技術外交のための
ホライゾン・スキャンニングにより
外交アジェンダを創出
(日本の顔が見えるソリューション提供も
念頭に, リードすべき議題を特定)

重点国の特定

SATREPSの一層の活用

イノベーション支援の強化
(工科大学支援, 共同研究支援,
人材交流等)

「科学技術顧問」の試行的設置

ネットワーク強化・人材プール
(関係機関・外部有識者)

若手研究者の活用
(外交実務への参画,
知的交流の機会拡充等)

在外公館の機能強化

ジャパン・ハウス(仮称)等との連携

科学者派遣の拡充